



年頭挨拶（2019年）

平成31年1月4日

院長 中島 弘文

あけましておめでとうございます。当院の業務内容にご理解とご支援を頂けております患者様・職員・関係各位の皆様に対して、心からの感謝と御礼を申し上げます。

当院の過去のデータを見返してみると、外来患者数は徐々に増加していますが、入院患者数は徐々に減少しています。入院患者数の減少には、病床の稼働制限と在院日数の短縮と言う病院側の要因が大きく影響していますが、美作地域の高齢化・人口減・収入減・老健施設の増加といった社会的な要因も関係していると思われます。

このような社会情勢への対応と地域医療への貢献を考えると、入院部門は医療形態を変更して行っています。平成28年1月に新設した地域包括ケア（回復期）病床は、14床から20床に増床し、療養病床は35床へ減床、急性期病床は、55床の維持としています。回復期を中心として急性期から療養期まで、患者さん一人ひとりの病態に応じた全人的な入院医療が提供できるように、機能を変更しています。そして、当院の入院患者の30%は、他医療機関からの紹介となっていますので、かかりつけの患者さんだけでなく、医療機関・介護施設・行政機関からも信頼を獲得できるような努力を継続する必要があります。

外来部門は、患者増に対応するために担当医師数の増員と診察室の増設を実施し、糖尿病専門医を招聘しての予約外来を開始しています。医師数が増加したこともあり、在宅療養支援病院としての機能拡充も予定しています。

優秀な人材確保と人材育成、そして意識改革だけではなく、働き方改革にも取り組む必要性があります。地域医療においては、患者減の問題よりも働き手減が喫緊かつ深刻な課題です。患者ニーズの高まりに伴う仕事量の増加や、報告書などの作成書類も増加しており、当院職員の業務内容は、増加し過重になっています。人材確保のためには、安定した財務基盤をもとに適正な給与体制を構築し、人間関係も含めて働きやすく働き甲斐のある職場環境・風土を醸成していく必要があります。人材育成は、病院として最も大切な責務であり、そのための支援を最大限に継続していきます。「人材の力＝病院の実力」です。働き方改革の実現には、病院側だけではなく、職員の意識改革も必要になりますので、職員一人ひとりの意見や思いを反映し、一致団結することが出来るシステムを、構築していきたいと考えています。

当院の長期目標は、「Hospitality No.1」です。病院における「Hospitality」とは、安心安全で秀逸な医療を提供できることを基盤として、相手のことを思いやる心を忘れず、対等の目線で、至高の接客態度を示すことです。「相手だけではなく自分も一緒に」「幸せな気持ちになれるような対応をする」ことです。「一人を幸せにできる人は、世界中の人を幸せにできる」のではないのでしょうか。

また、病院理念である「良質な全人的な医療」の実現のためには、目の前の仕事をこな

す日常を打破し、患者さんの現状から将来の事、患者家族の事、支援者の事、同僚の事、病院の事、津山と言う地域社会の事、そして自分自身と家族の未来の事を考える事が出来る「真の和風会人」への進化を、全職員の自己向上の目標にして貰いたいと考えています。

当院は、本年で創業141年となります。当院が2000年を越えて存続できるように、先人達が築き上げた病院の素晴らしき歴史と伝統を、更に良い物にしていくため病院全体で精進していきます。全ての患者さんの屈託の無い笑顔が見られるように、「中島病院に来て良かった」と言って頂けるように、取り組んでいきます。

このように考えている当院の取り組みに対し、皆様の御指導と御鞭撻をお願いできれば幸いです。本年も、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



【病院の基本理念】

私たちは、地域に信頼される内科専門病院として、良質な全人的医療を提供いたします。

【病院の方針】

病院の理念を達成するために、次の方針を実行します。

1. 安全・安心な医療を行います。
2. いかなる人の人権も尊重します。
3. 親切丁寧な対応に努めます。
4. 個人情報保護をします。
5. 必要な、知識・技術の習得に努めます。
6. 快適で清潔な病院環境を整えます。
7. 医療・介護・福祉機関と連携し、地域の人々の疾病予防・健康増進に努めます。

【長期目標】

1. Hospitality No.1 の病院を目指します。
2. 地域で最も信頼される評判の病院を目指します。
3. 全職員が誇りを持ち、満足して働ける職場作りを目指します。

